



これから雨の降る日が多くなりますね。図書室では「雨・水・天気」のコーナーと「栃木県民の日」にちなんだコーナーを作りました。図書室に来てゆっくり読書しませんか？



## 第63回青少年読書感想文全国コンクール 課題図書入荷しました！

書名『フラダン』 古内 一絵／作 小峰書店／刊

女子ばかりのフラダンス愛好会に集められた4人の男子高校生。その目的は、男女混合によるフラガールズ甲子園出場だった！震災から5年後の福島を描く、とびきりの笑顔と涙の青春ストーリー。



書名『ストロベリーライフ』 荻原 浩／著 毎日新聞出版／刊

「農業なんてカッコ悪い！そう思っていたけど…」イチゴ農家を継げと迫る母親。猛反対の妻。志し半ばのデザイナーの仕事はどうする？夢をあきらめるか、実家を捨てるか。恵介36歳、いま、人生の岐路に立つ！



書名『犬が来る病院 命に向き合う子どもたちが教えてくれたこと』

大塚 敦子／著 小峰書店／刊

「わたしの病院犬が来るの」それは、子どもたちへのすばらしい贈り物だった。日本で初めて小児病棟にセラピー犬の訪問を受け入れた聖路加国際病院。入院中であっても子どもたちが豊かな時間を過ごし、困難を乗り越えていけるように、医師や看護師、保育士、心理士、チャプレン（病院で働く牧師）等多くのスタッフたちで行われる取り組みを、4人の子どもたちの生死を通して描いた感動の記録。



## 6月19日は太宰治の命日『櫻桃忌』です

『御伽草子』 太宰治／著

みなさんは昔話の「浦島太郎」を知っていますか？海辺を歩いていた太郎さんが、子どもたちにいじめられている亀を助け、お礼に竜宮城へ招かれ、玉手箱をお土産に帰ってくる、といったところでしょうか。この「浦島太郎」のお話は、もともと古典の『御伽草子』の中に集録されています。

しかし、太宰治の書く「浦島太郎」は、そんなお話を元に現実的にそしてシュールに展開されています。亀を助けた理由とは？亀がしゃべるわけないだろう、となかなか恩返しを承諾しないなどなど、太宰ワールド満載です。

